

たったコレだけ！ 撮影のコツ 一眼レフでチャレンジ

コツ 1

構図の工夫



同じお花の満開とつぼみとを一緒に撮ったこの写真。対比をくっきりと表現したいなら、Bのように並べて撮りましょう。背景についてもBのようにピントが合うように注意しましょう。撮影の際、立ち位置を左右にずらすなどするだけで背景の色合いが変わり、輪郭がスッキリと表現できます。

コツ 2

光の調整



光の強さや角度は、生命力や立体感を表すのに重要です。ただし光がきつ過ぎると陰影が強いと、干からびた印象に。AとBは同じ構図ですが、全くイメージが違いますね。太陽と雲の位置を確認しながら撮影しましょう。レフ板（白や銀の反射板）を使ってお花にできた陰の部分に光を当てると良いですよ。Aは曇った日に、レフ板を使って下から花に光をあてたもので、Bは自然光のまま撮影したものです。

コツ 3

しぼりの対比



これもAとBが同じ構図ですが、印象は全く異なります。キレイに咲いているお花を見た時の感動を表現するならば、Bがオススメ。周辺まで記録したいならばAが良いでしょう。ダイヤルにお花のマーク（しぼり優先）がある機種ならば、そこに合わせるだけでOK！ 背景をぼかすために、お花と背景が離れているポイント探しも重要です。

専門知識のいらない “お花の撮り方”

特集 いつものカメラで、いつもと違う感動を！

登場以来、あっという間に驚くべき進化を遂げたデジタルカメラ。フィルム代は要らないし、手ブレもピントも調整してくれる。まさにベンリそのものですが、そのせいでなんとなく撮っている方も少なくないのでは？ 「どれもきちんと撮れているけど、なんかふつう」。「高級カメラを買ったけど、うまく使いこなせない」。そんなアナタもコツさえわかれば大丈夫！ 感動の一枚がきつと撮れるはずですよ。



ケータイ、スマホでも ナイスショット！

良い写真を撮るなら良いカメラが必要と決めつけていませんか？ しぼりの機能はありませんが、構図や光を工夫すればケータイやスマホでも十分です。機能のグレードアップより、腕前の上達を目指しましょう！